

真の美白はサングラスで!?

目に紫外線でも肌が日焼け

大阪市大、研究で成果

肌は紫外線を直接浴びなくても目で受けるだけで日焼けするという実験結果を、大阪市立大の研究チームがまとめた。これまで日焼けは、皮膚が紫外線に反応してメラニン色素を作り、日があたった部分だけが黒くなるとされていた。チームは、美白にはサングラスも必要、とみている。

同大学医学部の井上正

が「メラニン色素を作れ」と指示して皮膚が黒くなる、とみている。

康教授(生化学)らは、マ

井上教授によると、紫

ウスを3群に分け、紫外線を①あてない②耳の皮膚だけにあてる③目だけにあてる—の各群でメラニン色素のでき方をみた。すると、③のマウスの耳にも、②とほぼ同じ量のメラニン色素ができていた。③のマウスで、瞳孔を調節する三叉神経を切った場合は①のマウスと同様、メラニン色素はできなかつた。また、三叉神経を切らなくても脳の中心部にある下垂体を切り取ると、メラニン色素はできなかつた。

チームは、目が紫外線を受けると、三叉神経を通じて下垂体に「体に悪い紫外線が来たぞ」という情報が伝わり、下垂体

外線は目に見えなくても角膜に細かな炎症を起こす。この炎症の刺激を受けて、紫外線から身を守るため、日があたらぬ部分を含む全身の皮膚にメラニン色素を作らせるようになったというらしい。「長そで長ズボンで日光を防いでも、紫外線カットのサングラスをしないと万全の日焼け対策とはいえませぬ」

日焼けに詳しい市橋正光神戸大教授(皮膚科)の話 マウスの結果が人間に当てはまるかどうかはわからないが、興味深い。人間で、目にあたる紫外線が日焼けにどの程度関与しているのか、さらに研究してほしい。